

令和8年度 戸田市立新曽中学校業務量管理・健康確保措置実施計画
(新曽中学校における働き方改革について)

1 現状

- ・令和7年4月～12月の本校の教職員の時間外在校等時間の平均 34時間 13分
(戸田市中学校平均40時間14分)
- ・令和7年度の時間外在校等時間において360時間を超す教職員の割合48.2%
- ・ストレスチェックの項目「職場活性度(働きがい+活気+満足度)」10.5(全体平均:10.5)

2 目標

- ・時間外在校等時間において年360時間を超す教職員の割合を40.0%以内にする
- ・全ての教職員にとって、働きがいがあり働きやすい職場環境を整える
- ・ストレスチェックの項目「職場活性度」 10.5以上にする

3 具体策

(1) 業務量管理について

- ・勤務時間の客観的な把握と負担となっている業務の把握
- ・行事やその準備の時間のあり方の見直し
- ・勤務の割振りの効果的な活用
- ・休暇等の確実な取得
- ・戸田市部活動方針の遵守と部活動の活動時間の工夫
- ・ふれあいデー、定時退勤当番制(個人月3回、学年共通月1回)、ノ一部活動デーの設定
- ・校務のDX化による時間外在校等時間の削減
- ・積極的な業務の業者委託等の推進(プール清掃、宿泊行事会計業務等)
- ・標準授業時数を上回る時数の積極的削減

(2) 健康確保措置について

- ・休暇等の確実な取得と積極的・計画的取得
- ・衛生推進委員会の開催と産業医面談の実施
- ・部活動の複数顧問配置により、部活動に係る業務量の平準化
- ・面談、相談体制の確立(教職員の相談窓口の周知、カウンセラー・産業医との面談、風通しの良い職員室づくり等)
- ・管理職による見届け(見る、聞く、繋ぐ)

(3) その他

- ・保護者・地域の理解促進(学校運営協議会の活用、働き方改革の内容の公表等)
- ・定期的なカエル会議の開催